

2020年度JICA北海道(札幌) JICA研修員学校訪問募集要項

1. 目的

- 1) 近年、各校で取り組みが盛んになってきている国際理解教育への支援事業の一環として、地域の児童・生徒と、さまざまな開発途上国から来札しているJICA研修員との交流の場を提供しています。交流を通して、開発途上国や異文化に関する児童・生徒の興味・関心を引き出し、国際理解から国際協力への基礎を築くことを目的としています。JICA北海道では、当事業を通じて広く国際理解教育の裾野を広げることを目的としております。なお、語学習得(特に英語)をねらいとするものではありません。
- 2) 児童・生徒との交流を通して、JICA研修員が日本文化・日本人とのコミュニケーションを実体験し、日本についての理解を深める機会を提供します。

2. JICA研修員とは？

JICAの実施する技術協力の一環として、開発途上国からの要請に基づき、日本で専門的な技術を学ぶために来札している途上国の行政官や技術者等です。アジア・アフリカ・中南米・大洋州等さまざまな地域や国が含まれます。年間約1万人に及ぶ研修員が来日し、JICA北海道(札幌)でも毎年約600人の研修員を受け入れています。

3. 内容

JICA研修員が研修コース単位で学校を訪問し、児童・生徒と交流します。当日は、本事業の委託先の職員と通訳(1名)が同行する予定です。

- 1) プログラム作成にあたっては、児童・生徒による事前学習の発表の場となるだけでなく、JICA研修員も参加できるプログラムとなるようご注意ください。
- 2) 事前に出来る限り研修員の出身国や異文化理解に関する学習をしていただき、交流プログラムが効果的に実施されるように企画してください。交流の経験が児童・生徒の異文化理解や開発途上国への興味喚起、また国際協力へのきっかけとなるよう、事前・事後学習の流れの中で本プログラムを位置付けていただくようお願いします。
- 3) 事前・事後学習の取り組みとして、「JICA国際協力出前講座」「ほっかいどう地球ひろば訪問」を併せてご利用いただくことを推奨いたします。青年海外協力隊OBの体験談や開発教育ワークショップを取り入れた学習により効果的な取り組みが可能となります。「JICA国際協力出前講座」「ほっかいどう地球ひろば訪問」の詳細につきましては、添付資料、及びJICA北海道(札幌)ホームページをご覧ください。
※2017年4月より、国際理解教育の体験型施設として「ほっかいどう地球ひろば」が開設されています。
- 4) 児童・生徒が2つ以上のグループに分かれて交流する場合など、追加の通訳者が必要な場合は学校側で手配していただきます。(通訳者の手配に際しては、依頼先のご紹介などご相談に応じます。)

4. 訪問先範囲

JICA北海道(札幌)から原則車で片道概ね1時間30分以内で移動できる地域を念頭に、北海道内の、石狩振興局管内全地域、空知総合振興局管内の一部(岩見沢市、美唄市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町)、後志総合振興局管内の一部(小樽市、余市町、留寿都村、喜茂別町、京極町、赤井川村)及び胆振総合振興局管内の一部(苫小牧市、白老町、登別市、厚真町、安平町)にある小・中・高校・特別支援学校を対象とします。
ただし、研修コースによっては実施時間に制約が生じる場合があります。

5. 訪問日・訪問研修コース

以下の点につきまして、あらかじめご了承ください。

- 1) JICA北海道ホームページに記載されている予定期間のみ学校訪問が可能です。なお、期日が確定していないコースにつきましては、確定次第ご連絡をさせていただきます。研修コースの都合上、ご希望に沿えない場合もあります。
- 2) 来日スケジュール・研修予定等の変更で、訪問予定日が変更となる場合があります。
- 3) 研修員数は、若干増減する場合があります。また増減に伴い、研修員の出身国にも変更が生じる場合があります。

6. 経費

- 1) 謝金は一切発生しません。研修員及び同行者の移動にかかる経費は、原則全てJICAが負担します。
- 2) 給食交流を行った場合の給食費につきましては、実費を参加者が負担します。(当日、現金でお支払いします。)
- 3) 交流に必要な消耗品等については、学校側でご用意ください。
- 4) 学校側で通訳ボランティアを手配した場合の経費(交通費・給食費等)については、学校側でのご負担をお願いします。

7. 学校訪問までの流れ

学校訪問決定までの事務手続き・お問い合わせ等につきましては、当事業を委託されている公益社団法人 青年海外協力協会が担当します。

なお、詳細につきましては、訪問校に対して**4月24日(金)**実施予定の学校訪問説明会で、説明させていただきます。

1	募 集	2月中にJICA北海道(札幌)のホームページ等で公募いたします。
2	申 込	応募用紙に必要事項をご記入の上、担当者まで郵送してください。 【3月5日(木)必着】
3	選 考	選考結果につきましては、3月中旬に各応募学校へご連絡します。
4	説明会	4月24日(金)に、学校訪問受入が決定した学校の担当者を対象とした、詳しい説明会をJICA北海道(札幌)にて実施します。必ず各校から1名ずつご参加ください。
5	企画書の提出	(1ヶ月前) 学校担当者より、日程案・計画をFAX又はメールで提出していただきます。
6	第1回打合せ	(1ヶ月前) 電話等でプログラム内容の検討及び当日準備するものの確認等を実施します。 ※研修員受入が初めての場合、JICA北海道(札幌)にお越しいただき、実施いたします。
7	第2回打合せ	(約1~2週間前) JICA北海道(札幌)にて、研修員との顔合わせ・プログラムの確認等を実施します。
8	JICA研修員学校訪問当日	
9	報告書の提出	(約1ヶ月以内) 研修員学校訪問報告書」及び「JICA研修員学校訪問アンケート」の提出をしていただきます。 「JICA

8. 応募方法

JICA北海道ホームページをご確認の上、【2020年度 JICA研修員学校訪問申込用紙】に必要事項を記入し、下記申込先まで郵送で応募ください。

※JICA北海道(札幌)のホームページにも申込用紙の様式が掲載されていますので、ご利用ください。

校長印が必要ですので、お忘れのないようお願いします。

9. 選考方法

応募多数の場合、事業目的に地域および校種バランスに加えて、**新規応募校**を優先的に選定します。また、提出書類を次の観点から審査し、訪問校を決定いたします。

- 1 提出書類に不備がなく、締切日が守られていること。
- 2 JICA研修員学校訪問受入の動機や目的が、**事業のねらいと合致していること。**
- 3 国際理解教育に**学校全体で意欲的に取り組んでいく意思があること。**
- 4 **事前・事後学習の場として、2020年度中の「ほっかいどう地球ひろば」への訪問を予定していること。**

10. 応募締切日：2020年3月5日(木)必着

※窓口直接申し込みは17:30まで

11. 選考結果発出予定日：2020年3月17日(火)

お申込・お問い合わせ先
公益社団法人 青年海外協力協会 JICA研修員学校訪問担当 宛 〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4-25 JICA北海道(札幌)センター内 TEL:011-866-1515 FAX:011-866-1516 E-mail:hokkaido@joca.or.jp